



第5号

は～とふるだより

平成 29 年 9 月 19 日発行
 訪問看護ステーション
 は～とふる多摩センター
 多摩市愛宕 4-6-25-102
 TEL 042 (356) 2082
 FAX 042 (319) 6567

『RUN 伴東京×多摩2017』に参加させていただきました！



9月16日、『RUN 伴（ランとも）』に参加させていただきました。RUN 伴とは「認知症になっても住みよい街」について考えるきっかけとして毎年行われているイベントで、認知症の方や施設の利用者の皆さま、またそのご家族や一般の方々がゴールを目指しタスキをつなぐものです。『は～とふる多摩』からは代表の柴田がランナーとして、連光寺から



パルテノン多摩を目指す約10キロのコースを走る『チーム聖ヶ丘』に入れていただきました。途中聖ヶ丘地区では施設のご利用者様によるタスキリレーが盛大に行われ、とても感動的でした。終盤には愛宕四丁目の当ステーションにも立ち寄っていただき、スタッフにより給水のサービスもさせていただきました。



貝取こぶし館元気チェック



9月14日は貝取こぶし館で月イチ恒例の『元気チェック』。今回も『は～とふる』のスタッフがお手伝いとうかがいました。今回のチャレンジはテレビでお馴染みの『ストラックアウト』。的を目標けてボールを投げ得点を競いました。ご参加の皆さんが投げるボールの球筋と勢いの素晴らしいこと。ボールが的を射抜く快音と歓声が会場に響き渡っていました。中には1回では飽き足らず、何度もチャレンジをする方もいて、大いに盛り上がりました。その後は血圧、握力、血中酸素飽和度の測定を実施。いつもお元気な皆さんとまた来月再会できるのが今からとても楽しみです。

染みの『ストラックアウト』。的を目標けてボールを投げ得点を競いました。ご参加の皆さんが投げるボールの球筋と勢いの素晴らしいこと。ボールが的を射抜く快音と歓声が会場に響き渡っていました。中には1回では飽き足らず、何度もチャレンジをする方もいて、大いに盛り上がりました。その後は血圧、握力、血中酸素飽和度の測定を実施。いつもお元気な皆さんとまた来月再会できるのが今からとても楽しみです。



スタッフ日記『キアゲハの飼育』



私の趣味は家庭菜園です。以前、自宅で育てていたパセリがキアゲハの幼虫に食べられていたことがありました。農家には害虫のキアゲハ。でも私にとっては、いつしかその姿が愛おしく

思え、『ぜひ羽化を見てみたい』と思い、なんとアゲハのごはん用としてパセリを育ててしまいました（笑）幼虫はやがてサナギになり、ついに羽化し美しい羽を私たち家族に見せてくれました。その色合いの美しいこと。小雨の中を自力で飛び立つキアゲハの姿に命の美しさと力強さを見て感動しました。キアゲハは安らげる場所を慎重に探す性質があるそうです。『は～とふる多摩センター』も皆さんに安心をお届けし、このキアゲハにとってのパセリ畑のように、安らぎある存在になれば幸いです。

